

1 開会行事（教育長あいさつ）

・国の「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」において、部活動改革の名称を「地域移行」から「地域展開」に変更することが決定された。これは地域全体でこどもたちのクラブ活動を支えていくことで、新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とすることを目指していくという意図を込められてのもの。学校と地域の連携をますます重要視し、互いに協力し合っでこどもたちが希望する地域クラブに参加できるよう、課題の解決に取り組んでいきたいと考えている。

2 委員紹介

新委員（小学校長会 川本 尚貴、 中学校文化連盟会長 徳永 竜治、
中学校PTA 連合会 吉井 秀樹、 スポーツ少年団指導者協議会 西田 宏）

3 防府市地域クラブ活動の進捗状況について（事務局）

（1） 地域クラブの進捗状況について

- ・今年4月からはサッカーのFCアルトゥーラ防府、バレーボールのSCH牟礼の男女、ソフトボールの防府クラブJ-DREAM、バドミントンのエンジョイ・バドミントン・クラブと総合型クラブ防府が活動開始した。その他の種目は、選手権大会終了後、8月から地域クラブとして活動を開始。
- ・文化庁は図書館クラブが4月から、防府 STREETDANCE CREW というダンスクラブは6月から活動を開始。それ以外のクラブは11月から地域クラブへ移行。
- ・最後に、陸上競技の潮アスレチッククラブが地域クラブとなり、令和8年4月からすべての部活動が終了し、完全クラブ化する予定。
- ・ソフトテニスクラブの防府 STC が、生徒の受け入れを中学校4会場で実施。卓球は2クラブ立上がり、科学ではデジタルクリエイタークラブが新設される。
- ・「子どもたちの夢を叶える3つの支援」として、防府市では移動支援、スタートアップ支援、指導者資格取得支援を実施。

（2） 令和8年度以降の地域クラブの立ち上げについて

- ・今後は、①事前相談②申請手続き③認定書交付④指導者研修⑤周知期間⑥活動開始という流れで立ち上げを支援する。
- ・新しい種目、活動拠点の少ない地域を優先的に支援。既存の種目は競技人口などを考慮して決定。保護者が見守りを希望するクラブがあれば、保護者へ研修を実施。

（3） 令和8年度完全移行後の体制について

- ・部活動終了後は、地域クラブの代表も参加する新たな協議会を開催予定。

4 意見交換・質疑・情報交換

- 地域クラブ活動開始から様々な課題があるが、こういった問題が出ているか？
→会費が高いこと、移動のこと、指導者の安全管理などについて意見が寄せられている。
- 様々な課題が出てきた際に、各クラブにフィードバックされているのか？
→全体に関係することであれば、各クラブにお知らせしている。保険の補償内容や熱中症対策など気になることがあれば、各クラブに周知している。
- 指導者資格の講習会が今年は県内で受講できない。県内で開催してもらえないか？
→関係団体が輪番制で実施している種目もある。要望することはできる。
- 現在小学生あるいはその家庭に対して市はどのように告知しているのか。
→リーフレット（８号まで作成）の配布や学校説明会の開催、市のホームページに説明動画をあげているので、学校でも児童生徒に対して説明をお願いしたい。
- 保護者の中には、こどもの移動で不安を抱えている方もいる。スポーツ少年団や各種目団体が連携すれば、地域に根差した地域クラブを作ることができるのではないか。
→各地域に様々なクラブができるのが理想、今後も指導者を発掘していく。
- 今、地域クラブを立ち上げたいという相談を受けていれば教えて欲しい。
→ドッチボールやバスケットボール、軟式野球、タグラグビーから相談あり。
- 文化の公民館での活動について教えてほしい。
→公民館で活動している講座やサークル活動に、中学生を受け入れてもらうものなので地域クラブではない。現在、７公民館と２福祉センターで受け入れてもらっている。
- 地域クラブが公民館やルルサス等を利用し、地域に馴染むようにできたらいいと思う。
→子どもたちにとって活動場所は、非常に貴重な場所である。いろいろな活動ができるよう研究していく。
- 市のどの部署が何をするのか、はっきりとする必要があるのではないか。また、スケジュールがわかるようにして、市全体で取り組んでほしい。
→教育委員会と文化スポーツ交流部が連携して取り組んでいる。
- 協議会に、地域クラブの方に参加してもらい、意見をいただくようにしてはどうか？
→７年度末の完全移行後には、地域クラブの方も参加する協議体の整備を行う。
- 市内３エリアあるが、どのエリアのクラブに所属してもいいのか確認したい。
→どこのクラブに所属するかは自由。入会、退会も自由。
- 吹奏楽の地域クラブにおいて、今の保険では補償が不十分であり、訴訟が起きた時には、指導者が責任をとることになる。そうならないために、吹奏楽連盟では法人化を含めた新しい形を検討中。
- 中体連の大会は、今まで学校の教員が協力してもらい開催できた。今後新たな組織づくりが必要不可欠である。
- 学校備品が破損している場合、どこが修理するのか？
→体育授業の範囲内であれば教育委員会が整備するが、予算に限りがあるので順番になる。